

**製品名: TAB3 (10D17) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18596**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:20-1:50
分子量	79kDa

**抗原情報**

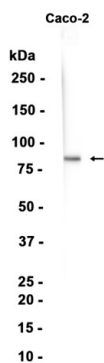
遺伝子名	TAB3
別名	MAP3K7IP 3; NAP1; NFkB activating protein 1; Tab3; TAK1 binding protein 3;
遺伝子 ID	257397.0
SwissProt ID	Q8N5C8
免疫原	ヒト TAB3 の合成ペプチド

**背景**

MAP3K7/TAK1 と TRAF6 または TRAF2 を連結するアダプター。IL1 および TNF シグナル伝達経路における MAP3K7 活性化のメディエーター。NF- $\kappa$ B および AP1 転写因子の活性化に関与する。アイソフォーム 2 は発癌因子である可能性がある。RanBP2 型ジンクフィンガー (NZF) による [Lys-63] 結合ポリユビキチン鎖の特異的認識を介して、JNK および NF- $\kappa$ B シグナル伝達経路を活性化するために必要なアダプター (PubMed:14633987、PubMed:14766965、PubMed:15327770、PubMed:22158122)。MAP3K7/TAK1 および TRAF6 を [Lys-63] 結合型ポリユビキチン鎖に連結するアダプターとして機能します (PubMed:14633987、PubMed:14766965、PubMed:15327770、PubMed:22158122)。RanBP2 型ジンクフィンガー (NZF) は、RIPK1/RIP1 などの基質タンパク質にアンカーされているかアンカーされていないかを問わず、Lys-63'結合型ポリユビキチン鎖を特異的に認識します。これは、MAP3K7/TAK1 の自己リン酸化を促進するための大規模なシグナル伝達複合体を形成するための足場として機能し、続いて MAP3K7/TAK1 による I- $\kappa$ B キナーゼ (IKK) コア複合体の活性化を引き起こします (PubMed:15327770、PubMed:22158122)。

## 研究分野

## 画像データ



TAB3 (10D17) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Caco-2 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。